An Alumni Bulletin

DAIDO INSTITUTE OF TECHNOLOGY

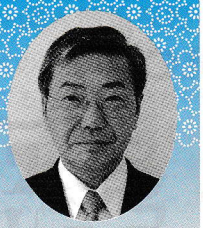
同窓会報

2007
No.49
1月1日

目次

新春ご挨拶　大同学園副理事長　奥村博司 …… 2
BRANCH INFORMATION（支部情報）…… 3
DIT INFORMATION …… 8
OFFICE INFORMATION（事務局情報）……12
編集後記 ……12

新春ご挨拶



大同学園
副理事長　　奥村　博司

大同工業大学同窓会の皆様、新年明けましておめでとうございます。

ご家族おそろいで新春をお迎えになられたこと、心よりお慶び申し上げます。私は昨年の８月末に縁あって本学にまいりました。これから長いおつき合いになると思いますのでご指導の程よろしくお願い致します。さて、本学に身をおいて数ケ月がたったところですが、その感想を一言で申せば「企業と大学との文化の違いに驚かされること」の連続であったと言えましょう。又、新聞を読む時も、従来は政治・経済が中心であったものが、今では教育・研究という視点に変ったということです。そして、改めて教育に関する記事がこんなにも多いものかと考えさせられる今日このごろです。

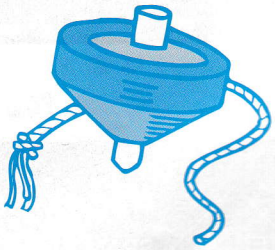
以下にそれら記事のタイトルを思いつくまま列挙してみますが、おそらく皆様も何かを感じられることと思います。

・大学全入時代
・国立大学の独立法人化
・18才人口の減少
・私立大学の定員割れ40％
・若者の理工系離れ
・ゆとり教育による基礎学力の低下
・高校必修科目の履修漏れ
・産学連携
・高大連携
・教育基本法の改正

などと続きます。しかも、これらのことは全て本学にも直接かかわってくるという事実です。今や、大学といえども企業と同様、環境の変化に対応しなければ生きていけないということです。当然のことながら、既に現教職員のみなさんは真剣に本学の改革に取り組んでおられます。しかし、その道のりは長くまだまだ入口の所であります。そこで今一度、改革の方向を確認しておきたいと思います。それは「産業界が求める技術者を養成する」という本学の使命を基軸に、今ある長所をより強化する形で環境の変化を先取りすることだと思います。それでは今ある長所とは何でしょうか。

・第一に、教育重視をかかげ研究授業を全教員に実施すると共に学習支援を充実させていること
・第二に、学生一人一人へのめんどう見の良さがあること
・第三に、新築された名鉄「大同町駅」に隣接していること
・第四に、同窓会と本学との想いの距離が近いこと
・第五に、併設高校の見違えるような質の向上が実現していること

など数多くあるのです。未だ発展途上ではありますが、これらを学生の目線に合わせると共に産業界のニーズに答えれば自ずと道はひらけるものと思います。加えて、うるおいのある学び舎にすべく、緑化など学生生活の環境を整えることも必要でしょう。私は、志のある人々と共により活性化された大学にすべく努めてまいります。同窓会の皆様には、今まで以上のご理解とご協力をお願い致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



BRANCH INFORMATION

兵庫支部　支部長　田畑　稔幸

新年明けましておめでとう御座います。2007年の新春を迎え、各支部同窓会員各位に於かれましては益々ご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。

さて当支部総会・懇親会を８月26日（土）午後６時より「酔虎伝」国際会館前店で開催致しました。この度は、発足から６周年を迎え、本部より園原常任理事・愛知副会長・68E小嶋俊一氏が応援・祝福に駆けつけて下さいました。この場を借りて御礼申し上げます。

総会では、深川副支部長の司会進行により、下記内容で進めさせて戴きました。

①副支部長挨拶　②園原常任理事挨拶を約15分で終了致し、懇親会では、２時間30分の楽しい一時を過ごすことが出来ました。

平成19年度の総会日程やその他行事については当推進委員会の調整が取れない現状ですが、気軽に参加下さいますようお願い申し上げます。

平成19年度支部役員は、理事：**愛知久史**　事務：**高橋昌弘**　顧問・相談役：**田畑稔幸**　支部長：**深川常治**　副支部長：**井貝公三**　副支部長補佐・事務局長：**川上　浩**・**寺前弘**　企画部長：**大村一夫**・**西田茂浩**　広報部長：**管　圭介**の予定で運営致します

最後になりましたが、６年間いろいろとお世話になりました。あと３ヶ月で支部長を引退致しますが、全力を尽くして頑張りたいと思います。

また平成19年度より新支部長・新副支部長が誕生しますが、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

同窓会員各位のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

あいち支部　支部長　山口　敏幸

大同工業大学同窓会員関係各位の皆様、新春を寿ぎ謹んで新春のお喜びを申し上げます。旧年中はあいち支部の活動にご支援、ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

本年、あいち支部も創設してから15年を迎えることになりました。これも一重に先輩諸氏からのご支援、ご協力のお陰と感謝しております。今回15周年を迎えるに当たり、あいち支部総会を盛大に開催したいと支部役員一同考え準備をしております。同窓会員の皆様の多数のご参加をお待ちしております。開催の要旨は下記の通りです。

大同工業大学では昨年４月に新学科、工学部ロボティクス学科を新設。時代のニーズに併せた教育を充実させ益々発展しております。我々同窓会では卒業生の皆様方のご子弟を大同工業大学入学への応援事業も行っております。どうぞ気楽に同窓会へお声をおかけ下さい。

あいち支部15周年総会開催要旨

開催日時　平成19年２月24日　17：00より
開催場所　メルパルクＮＡＧＯＹＡ（郵便貯金会館）
〒461-0004　名古屋市東区葵３-16-16
TEL　052-937-3665
会　　費　￥６，０００円　　で計画をしております。
皆様のご参加をお待ちしております。

あいち支部活動内容の紹介

平成18年度教職員との親睦ゴルフ模様

第14期あいち支部総会懇親会模様

詳しくは同窓会事務局までご一報下さい。

名古屋市南区滝春町10丁目３番地
大同工業大学同窓会事務局　（岡本さんまで）
電話・FAX　０５２－６１２－８５５０
（対応時間：月・水・金10：00～16：00）
E-mail　office@gobys-net.com

山梨支部　支部長　藤井　豊

新年明けましておめでとうございます。

2007年の新年を迎え、各支部同窓会員の皆様におかれましては、素晴らしい新年をお迎えになれたことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、山梨支部の活動に、同窓会本部ならびに各支部の皆様のご支援･ご協力を頂き誠にありがとうございました。

本年も昨年同様お力添えをいただけますよう、よろしくお願い致します。

山梨支部では、支部総会・懇親会を９月９日（土）に開催いたしました。本部よりご多忙の中、石川事務局長にご参加頂き、大変有意義な時間を過ごすことができました。

今後の山梨支部の活動計画は、

19年 １月下旬　　新年懇親会
19年 ６月第２日曜　さくらんぼ狩りとバーベキュー大会
19年 ９月第２土曜　支部総会・懇親会
19年10月第１日曜　ぶどう狩りとバーベキュー大会

以上のような計画をしております。

卒業生皆様の親睦、情報交換の場として、是非多くの方に参加していただきますようご案内いたします。山梨支部以外の方の参加も大歓迎します。

最後に、皆様のご多幸とご健勝を心からお祈り申し上げ、新年の御挨拶とさせて頂きます。

四国支部　支部長　鍔田　秀昭

全国でご活躍している同窓生の皆様、新年明けましておめでとう御座います。益々のご健勝の事とお慶び申し上げます。また、四国支部会員の皆様には同窓会活動に御協力を頂き有難う御座います。

昨年１月に四国支部長に就任致しまして公私に渡り、時が経つのは本当に早いものだと実感いたしております。

仕事では徳島・香川をメインに営業活動を致しており四国は全国より遅れ気味ですが、景気は、ようやく着実に回復し、上昇プロセスに入ったように見え活性化しつつあります。更に期待したいものです。

昨年からの引き続き傾向ですが、政界の女性議員、スポーツ界では、ゴルフの宮里・横溝、相撲の白鵬・バルト、サッカー界は世界のチームに散らばり活躍し、今年もプロ野球は大リーグを始め新たなブームが再燃しそうです。団塊の世代からの若返りと女性の進出が活発になる一年になると思われます。今年も若い人達に負けずエネルギッシュに活動いたします。

昨年８月19日(土)に第21回四国支部総会のご報告いたします。例年通り高松市内の『魚市場 小松』にて開催致しました。当日は母校より関谷先生と石川事務局長のご臨席を賜り、卒業生は11名で計13名の参加者を得ました。両名からは、母校の状況など卒業生にとって有意義で大変興味深いお話を頂きました。以下に記念写真をご紹介致します。

毎年８月の支部総会11月の大同香親会は２桁の参加者を目標に参加者が増え徐々にではありますが、女性１名の参加もあり活発になってきているように思えます。同窓生の横(仕事・趣味など)の繋がりを活用し母校のＰＲにもなればいいなと考えています。

支部活動の経過報告・今後の活動方針などをご報告しご賛同いただきました。参加者より近況内容と支部活動に対するご意見・提案と２次会スナックも参加頂き夜更けまでありがとう御座いました。

翌日は残暑の中、石川事務局長・藤岡副支部長と金毘羅詣でいたし、本宮まで登りおえ達成感でいっぱいでした。(登るの大変だろうなと786(悩む)一歩手前の785段です。)

今後も支部活動が益々活発になり、支部会員の交流のみでなく母校の教職員の方々とも交流が広がることを期待して、新年のご挨拶とさせて頂きます。

東三河支部　支部長　彦坂　修平

新年明けましておめでとうございます。会員諸氏におかれましても素晴らしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。今年は「亥」の年、目標に向かって突進する年ではないかと思います。年頭に立てた初心に向けて頑張ってみたいと思います。

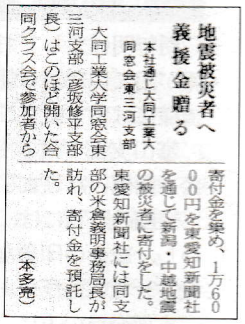
最近の政府の発表のおいては、史上最長の好景気だそうですが、好景気の気配がまったく感じられない今日この頃です。その中で我々は同窓会活動において先輩・後輩・旧友の親交を深め慰めあい、励ましあい活力を養っておりま

す。東三河支部もはや設立今年で６年目になります。昨年の７月の総会は、39名の出席で杉浦教授の講演、来賓に宮本会長、豊田支部山本支部長にも花を添えていただきパーティを盛大に開催し、夜が更けるのも忘れ、昔話に花が咲いておりました。今年の行事は、下記の予定で開催するつもりでおります。まだ一度も参加してない方がありましたならぜひ参加してみて下さい。当支部の気さくで楽しい雰囲気できっと満足していただけると確信いたします。

[2007年行事予定]

1. 新年会	平成19年２月10日（土）
2. 東三河支部総会	平成19年７月10日（土）
3. 春の懇親会	平成19年４月21日（土）
4. 秋の懇親会	平成19年10月27日（土）

↑東三河支部総会



地震被災者へ義援金贈る

本社通じ大同工業大同窓会東三河支部

大同工業大学同窓会東三河支部（彦坂修平支部長）はこのほど開いた各同クラス会で参加者から寄付金を集め、1万6000円を東愛知新聞社を通じて新潟・中越地震の被災者に寄付をした。

東愛知新聞社には同支部の米倉義明事務局長が訪れ、寄付金を預託した。（本多亮）

↓69期生機械工学科・電気工学科　初めてのクラス会開催
16名が参加し、大盛況に終りました。

東愛知新聞　2006年(平成

東愛知 友の会コーナー

69期生、機械科・電気科 初めてのクラス会開催

大同工業大学同窓会東三河支部がこのほど、グリーンホテル三ヶ根で、機械・電気科の合同クラス会を開きました。機械科の幹事・柴田広章さん、電気科のクラス担当理事・原田正恒さんのご尽力で、東三河支部で初めての69期生の会合が16名で行われました。

初めて今回参加された北陸の新町さんは、機械科の7人と34年ぶりの再会に時間を忘れ、語り合ったそうです。機械科も電気科もそれぞれは場所、時間を変え、仲間を集め、クラス会は開催していましたが、支部長・彦坂修平さんのご厚意もあり、今回実現いたしました。

翌日は、7人の有志が三河支部がこのほど、グレーンカントリークラブのプレーを楽しむために、午前9時過ぎにホテルを出かけました。晴天に弱い風が吹くコンディションでは、晩秋の青空に白いボールが放物線を描き勢いよく飛び出し、まだ、グリーンでは、コトンという金属音に、ナイスパーと周りから拍手が聞こえてきます。

機械科の柴田幹事をはじめ皆さんの同意を得て、参加費の一部を先に付に充てる決定をいたしました。「新潟」も約100名の大同工業大学の同窓生がおられ、いまだに自身と地域の復興に苦闘しているとのことです。「我々も含め、忘れてはならないことでしょうし、冬に向かい仮設住宅を出られない方々の、気持ちの一部でも、おもんばかることに心いたしましょう。

（大同工業大学同窓会東三河支部事務局・米倉義明）

※東愛知新聞友の会は1988年、「暮らしに役立つ新聞」を目指し、読者と地域社会との結びつきを深め、理解と価値を高めるために設立しました。会員の皆さんには本社の刊行物の優遇配布、本社主催の行事への招待または優遇などがあります。年会費は2000円です。入会の問い合わせは東愛知新聞社事業部の事務局へ。

静岡支部　支部長　花本　篤人

日増しに寒さが加わってまいりましたが皆様いかがお過ごしでしょうか。

近況活動では９月に行われた山梨支部の親睦会に静岡支部同窓生２名＋家族で楽しく参加させて頂きました。山梨支部との親睦交流のご要望は双方の同窓生から以前より頂いていましたが、今回が初の親睦会参加となりました。

家族ぐるみで親睦が深められて充実した一日になった事は言うまでもありませんが、見知らぬ遠方に出向いても多くの同胞が居ると言う事は大変喜ばしくかつ心強く感じ、同窓会の素晴らしさを再実感した日でもありました。

山梨支部の皆さん、大変お世話になりましてありがとうございました。来年の静岡支部同窓会では皆さんのご参加を心よりお待ちしております。

静岡支部の今後の活動につきましては、懸案となっております同窓会の内容充実と、富士、沼津、伊豆等の東部方面での同窓会の企画を進めたいと考えております。関係者の方には色々とお願いをする事もあるかと思いますが、その時はどうぞご協力のほどお願い致します。

皆様のご健康とご多幸を心からお祈り致します。

大阪支部　支部長　松田　明雄

2007年　明けましておめでとうございます。

各支部の同窓生の皆様におかれましては、益々ご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。

大阪支部の同窓生諸氏に対しまして、現在充分な支部活動を展開できず誠に申し訳なく思っております。今年こそは全力で企画・運営をさせていただく所存でございますので、皆様方のお力をほんの少しだけお与え下さいますようお願い申し上げます。

支部活動の原点である支部総会は、今年は２月か３月の吉日に実施いたします。大阪の難波周辺で土曜日に開催することは決定いたしております。その他事項について決定次第支部内の皆様方にご案内申し上げます。（遠距離の方で泊りが必要な方にはホテルの手配もいたします）

支部総会では、大学の近況の報告．支部活動の活動報告．支部経費の決算報告を規定通り行いますが、やはりメインは同窓生の親睦です。大同工業大学の同窓生として共通の連帯感を持ってワイワイ・ガヤガヤ同じ時間を共有することを目的としましょう。

技術系の大学ですのであまり人と接することの少ない諸氏も居られるかも知れません。何をどうして良いか解らないし、何せ面倒だと思っておられる方もいらっしゃるかも知れません。しかし、同じ大学の卒業生で先輩・後輩・同級生の間は一味違った連帯感が生まれるものです。是非一度大阪支部の総会（懇親会）に参加してみてください。

仕事の話もご法度にしていません。利用できる情報やその他、自由に交換してください。大学を卒業されたばかりの同窓生の方、宝箱の中を是非見に来てね。

以上、大殺界を抜けかけている支部長からのお願いでした。

大阪支部長プロフィール

松田　明雄（75m242）

昭和30年５月生まれ

現在の仕事は、保険の代理店のおっさん

趣味は38年間している吹奏楽。サックスだよ

愛犬はアイとピピのチワワの親子

携帯電話　090-5255-9265（遠慮無しでかけてね）

岐　阜　支　部　　支部長　香田　　孝

新年明けましておめでとうございます。

岐阜支部がスタートして最初のお正月いかがお過ごしでしょうか。

新聞紙上は問題・課題が山積みで、我々の日常も公私とも慌ただしいと思っているのは私だけではないと思います。でも、それはそれとして少しでも多く自分にとって「いい時間」を持てたらと願い、今年をスタートさせました。

突然ですが、現在の大同工大の学部学科はどれだけあるか知っていますか。なんと２学部６学科10の専攻、私の時代（72E）は電気と機械だけだったので増えに増え、大学時代の追う目を感じます。この大学の頑張りを同窓会としても応援したい。

学　科	専　　攻
機械工学	機械工学
	先端機械工学
ロボティクス	
電気電子工学	
建 築 学	建築
	福祉環境
都市環境デザイン工学	
情　　報	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｻｲｴﾝｽ
	情報ﾈｯﾄﾜｰｸ
	ﾒﾃﾞｨｱﾃﾞｻﾞｲﾝ

今、400字以内という制約でこの原稿を書いています。あと一点、新年会を兼ね来る２月４日（日）に岐阜支部総会を開催したいと準備しています。会場は「揖斐川丘苑」といい大垣から北に20ｋｍほど行った山間のいいところです。詳細については近々本部より便りいたしますが、是非参加して下さい。

「いい時間」にしましょう。

寒さ厳しき折、十分にご自愛下さい。

「岐阜支部第１回総会」　お知らせ

岐阜支部発足集会を開催しましたが、平成19年２月中に岐阜支部第１回総会を開催する予定です。これから岐阜支部の本格的に始動します。

つきましては、岐阜県在中の同窓生に詳細な計画が決定次第ご案内しますので、ご多忙とは存じますが、奮ってご参加くださるようお願い申し上げます。

岐阜支部　支部長　香田　孝

TEL0584-81-3025　携帯090-2687-7358

富　山　支　部　　支部長　谷井　直之

新年明けましておめでとうございます。今冬は暖冬の予報が出ていながら朝晩の冷え込みも厳しくなる折、会員の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

富山支部では、９月30日から10月１日にかけ、支部総会を開催いたしました。

今回の寄稿には、総会に参加された90Dの野上君にお願いし、総会の印象など語っていただきましたのでここに掲載させていただきます。

支部会員の方に、より多く参加していただきたく考えてみました。次回１月末には、新年会も企画しますのでぜひ参加していただければと思います。

よろしくお願いいたします。

「9月30日～10月1日、八尾ゆうゆう館で行われた、富山支部総会に参加しました。同窓会本部からも事務局長の石川さんが参加されており、滝春校舎の新キャンパス、新学科の新設など、大学の近況についての報告がありました。大学もますます発展し続けているようです。

総会後の懇親会で、『月見のおわら』を見に行きました。ずっと富山に住んでいますが、なかなか機会がなく、今回が初めてでした。県外からのツアー客にはリピーターが多いようで、踊りの輪に入り、綺麗に踊っているのには驚

きました。

総会・懇親会などで、大同OBの方々と交流する機会が増えればと思っていますが、今回、県内からの参加者が4名と少なく、少し残念です。次回も参加したいと思います。

90D092　野上潤一

北陸支部　支部長　南　東基

新年明けましておめでとう御座います。同窓会々員の皆様におかれましては益々ご健勝の事とお喜び申し上げます。

昨年を振り返ってみますと景気回復が本格化してきたと、たびたび報道されるようになってきました。このこと自体は喜ばしい事ですが都市部と地方、業種別の格差などあり、私のように地方（福井）と言われる所に生活する者にとっては、まだまだ実感するには先かなと思っていますが、同窓会々員の皆様は如何でしょうか。さて視点を我が大同工大が存在する大同町に向けますと、学生、先生、職員それと高校生を含めて沢山の老若男女が集まってくるわけで、この事実を単純に考えても地域にとっての活性化や経済効果に、大同工大をはじめ大同学園が何らかの形で貢献している事になります。大同町は名古屋市の市街地であって中心市街地ではないことを考えても大きな意義を持っているのではないでしょうか。

今盛んに国の施策もあり中心市街地の活性化が全国的に叫ばれており、名古屋市においてもいろいろな施策、事業が順次行われているようです。これを福井と比較すると私の考えでは、中心市街地の空洞化が福井の方は特に顕著に現れているようです。なぜなら中心部に在った大手会社の統合、撤廃による支店、営業所の廃止や元々有名ブランド店が少ない（絶対的人口不足要因）事もあり商品の差別化が郊外型ショッピングセンターに対してはかてない、また公共交通手段不足等により人が中心部に集まらないのが現状です。福井でも人口減少が叫ばれる時代にあって、既存の社会資本が整備された中心部をうまく有効活用した方が県や市にとっても財政上、経済的運営が図れるメリットもあるのでしょうが問題山積みです。今後、同窓会の集まりの時にそれぞれの地域の人の意見を聞かせてもらえればと思っています。

一方、私が在学当時からすると名古屋駅周辺も様変わりし、近代都市の窓口へと大きく変貌しています。名古屋は着実に活性化してきた。元気があるな。と言う印象があり、その地にある本学もよい影響、恩恵を受け今年も益々発展していく事でしょう。

年頭にあたり、同窓会々員皆様の益々ご健勝で活躍される事を祈願いたします。

滋賀支部　支部長　石井　和浩

新年を迎え、会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

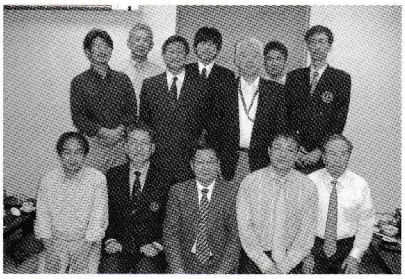
滋賀支部では、支部総会並び地域貢献講演会を平成18年11月９日に近江八幡の男女共同参画センターにて開催しました。

地球温暖化防止のため新エネルギーの導入と省エネルギー型の地域づくりの実践が求められている今日、滋賀支部としては講演会を通して産・学・同（同窓会）連携によってその地域づくりの一助になればとの思いで、日本の燃料電池研究開発の第一人者であり我が母校でご活躍中の堀美知郎教授に、「燃料電池開発の最前線」と題してご講演いただきました。

当日は、産業界から11名、八幡工業高校７名、官庁関係者２名、宮本会長と石川理事をはじめとする同窓会関係者10名の約30名の方にご参加いただきました。

「既に枯渇が取り沙汰される化石燃料の代替エネルギーとして今後主体エネルギーとなる燃料電池の研究では、現在、想定されるリスク回避の為の実験を行い実用化に向けて開発中である。また豚の糞尿等を用いたメタン発酵ガスを燃料にして発電することで、海外の無電化地域の電力自給が可能になる。このような電力自給の技術が広がることで、日本も海外に燃料を依存せずに済むようになる。」と力説される堀先生の講演に対し、参加者は熱心に耳を傾け、質疑も濃い内容が交わされ、開場は熱気と真剣な雰囲気に包まれました。そして総会後の懇親会では、同窓会と地域の方々との和やかな交流が出来、同窓会と地域社会との繋がりの第一歩を実感できるものでした。

今回、堀先生をはじめ、大学関係者・同窓会役員・皆様方のご尽力に感謝を申し上げます。今後も地域貢献の一助となるよう、また同窓会の魅力を向上させ、会員の方が一人でも多く参加していただ



けるよう工夫していきたいと考えています。そして、地域の方々に必要とされる大学と共に同窓会が発展していく様、皆様のご参加とご支援をお願い申し上げます。

関東支部　支部長　宮﨑　定典

新年明けましておめでとうございます。

昨年は関東支部25周年記念講演を開催しました。同窓会本部、関東支部会員の皆様に多大なご協力を頂き無事終了しました事に心より感謝申し上げます。

さて、関東支部副支部長の西郷義美氏（65M）が本を出版されました。「『知財IQ』をみがけ！日刊工業新聞社定価1470円」日刊工業新聞に長年にわたり連載していた記事を本にしたのです。同窓生として大変喜ばしく、誇りに思います。

また本年も盛大に第26回大同工業大学同窓会関東支部総会を平成19年6月30日（土）午後4時より浅草葵丸進にて行います。ご夫婦での出席もお待ちしておりますので、ご協力の程よろしくお願い申し上げ新年の挨拶とさせて頂きます。

豊田支部　支部長　山本　由和

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、新春を迎え益々清栄のこととお喜び申し上げます。平素は同窓会本部をはじめ関係者の皆様のご支援、協力を頂き誠に有難うございます。

豊田支部は11月25日、第19回支部総会、懇親会を宮本会長、石川事務局長のご列席をいただき、無事開催することが出来ました。総会では役員人事をはじめ、20周年記念総会についても審議を頂き、準備委員会発足の承認を頂きました。

支部活動も、先輩諸氏のご尽力により、20年の節目を迎えるまでになり、会員参加者も,機械,電気から建築,土木の卒業生の参加も多くなり、多岐にわたり活躍される会員の皆様の良き情報交換の場になってきました。

本年こそ400名を超える組織力発揮し、10周年に負けない布石を残すことが出来るよう、有意義な企画していきますので、多くの会員皆様の参加をお願いします。詳細は、後日ご案内いたします。

今後とも会員の皆様がご健康で、益々ご活躍されますことを祈念いたします。

信越支部　支部長　梶　義広

新年明けましておめでとうございます。

卒業生の皆様、支部会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

信越支部も設立以来８年を過ぎようとしています。今まで本部役員皆様、各支部の皆様の御協力があって８年間も運営ができたと思っております。今後とも御協力をよろしくお願い致します。

また、本年度の信越支部総会を２月下旬か３月上旬に予定しています。支部の皆様に詳細は後日連絡致します。会員の皆様の多数の参加をお願い致します。

DIT INFORMATION

入学試験情報

あけましておめでとうございます。年が明け、いよいよ入学試験も本番を迎えます。

本学では下記の日程で入学試験を行います。

■ 入試日程（全学部共通）

入試種別	学力系一般入学試験		大学入試センター試験利用入学試験			
	前期入試	中期入試	前期入試	中期入試	後期入試	ファイナル入試
出願期間	1/9(火)～1/18(木)	1/22(月)～2/1(木)	1/9(火)～1/18(木)	1/9(火)～2/1(木)	1/9(火)～2/9(金)	3/1(木)～3/13(火)
試験日	1/27(土)・28(日)	2/10(土)	センター試験　1/20(土)・21(日) 本学独自の試験はありません			

※センターMIX入学試験（今年度より実施）・・・大学入試センター試験と、本学の前期入学試験（A方式・B方式）の両方を受験した場合のみ出願できます。両試験で受験した教科・科目をそれぞれ比較し、高得点の結果を採用するユニークな入試です。

■ 奨学生試験

前期入学試験・大学入試センター試験利用前期入学試験において上位成績優秀者（約45名）を奨学生として認定します。奨学生入学者については学納金（授業料等）の半額程度を奨学支援します。

■ 入学検定料

一般入学試験　35,000円
大学入試センター試験利用入学試験　20,000円
第２志望、センター利用学内併願は１学科5,000円の加算で受験が可能です。

■ 入試科目

Ⅰ型入試とⅡ型入試があり、学科・専攻により入試科目が異なります。

Ⅰ型受験（数学必須）	機械工学科／機械工学専攻、先端機械工学専攻 ロボティクス学科・電気電子工学科・都市環境デザイン学科（Ⅰ型） 建築学科／建築専攻、福祉環境専攻（Ⅰ型） 情報学科／コンピュータサイエンス専攻、情報ネットワーク専攻、メディアデザイン専攻（Ⅰ型）
Ⅱ型受験（外国語必須）	建築学科／福祉環境専攻（Ⅱ型）・都市環境デザイン学科（Ⅱ型） 情報学科／メディアデザイン専攻（Ⅱ型）

３教科入試（前期入学試験）	Ⅰ型受験	数学必須。英語・国語・物理or化学から２教科選択。
	Ⅱ型受験	英語必須。数学・国語・世界史or日本史から２教科選択。
２教科入試（中期入学試験）	Ⅰ型受験	数学必須。英語、物理or化学から高得点１科目の２教科判定（３教科を受験）。
	Ⅱ型受験	英語、数学、国語から高得点の２教科判定（３教科を受験）。

皆様のご子弟、ご兄弟姉妹、ご親戚、知人あるいはお近くの方で、工学・情報系の大学へ進学をお考えの方が見えましたら、本学への受験をお勧めくださいますようお願い致します。

各入学試験の詳細内容につきましては、入試室までお問い合わせください。

皆様のますますのご多幸とご活躍をお祈り申し上げます。

大同工業大学　入試室
ﾌﾘｰﾀﾞｲﾔﾙ　０１２０－４６１－１１５
nyushi@daido-it.ac.jp

平成18年度の就職状況について

○求人状況

自動車産業を中心とした東海地区の製造業は昨年にも増して好調であり、本学の就職希望者約730名（院生含む）に対して、約6,300社（昨年対比30％増）からの求人を頂いています。更には各企業共に本年度の大卒採用計画を下回る人材確保から、「秋採用」・「追加採用」を実施された企業の中で、大企業に分類される企業の求人が目立ちました。また、中堅企業にあっては、内定者に対しての呼び出しにより、最終的な入社意志の確認を行う中で辞退者が露見し、追加募集を計画せざるを得ないケースが多くなってきました。この状況は、平成19年度卒業予定者の就職活動にも大きな影響が考えられる。

○就職活動・内定状況

企業の採用活動は、例年早期化傾向に有り、内々定を得

る時期が４年次生の４月早々には、いい学生を早く採用確保したいための動きがあるように推測されます。

本学の内定状況は10月末現在で86.3％と順調でありほぼ昨年並みの状態で推移してきました。一般的によく雑誌等（東洋経済、エコノミスト、読売ウイークリー等）で公表されている「就職率」については、平成17年度末94.4％と全国の国公私立大学内ではトップクラスにあり、本年度も昨年を上回る96.6％（10月末現在）と好調です。本年度の内定状況につきましては、ここ年度末を迎えるに当って内定状況の推移もやや鈍くなってきており、未内定者の中には、「求人状況が好転しても、今だ就職意欲が湧かず活動が遅い者や、自分が進みたい分野と企業が明確に定まらない者、また、数回の失敗で挫折感に陥り活動を停止している者」等が取り残される状況にありますが、このような学生が出ないようにキャリアセンターでは、最終的に本人達の意向に適うよう助言と指導支援を行っています。

キャリアセンターでは、就職を希望する学生個々に対して万全な体制で就職支援を充実させ、更に今後は、低学年からの「就職観」についてのキャリア教育を確立させて行きたいと考えていますのでご支援をお願い致します。

○インターンシップのお願い

インターンシップとは「学生が在学中に教育の一環として、自らの専攻・将来のキャリア（職業）に関連した企業等で一定の期間に職業体験を行う仕組み」です。本学では、夏期休業期間を利用し約２週間のインターンシップを通じて学生に企業実務を経験させることにより、更なる教育上の効果を高めると同時に企業経営と職務の一端を理解させ、学生の「就職観育成」や「職業選択」にとって有意義な経験を積ませることを目的としています。

本年度は、昨年度に比較して約５倍の90名の学生が参加しました。参加した学生に対しては、マナー等社会人としての最低必要な要件を事前研修すると共に、研修を終えてからのレポートの提出と「成果報告会」までの指導を実施しています。今後更に参加者は増加することと考えています。皆様の勤務先企業でもインターンシップ実施の趣旨をご理解頂き、ご協力頂きますようお願い致します。

ロボティクス学科紹介

「ロボティクス学科」を知るためのQ&A

Q：どうして「ロボティクス学科」を作ったの？

A：現在、ロボットが活躍しているのは工場などの産業分野が中心ですが、今後は多種多様なロボットが私たちの生活に入り込み、福祉・介護などの生活支援、防災・災害対策などで活躍することが期待されています。

ところが、従来の細分化された専門教育では、そのような時代の流れに対応できません。

今後は機械工学、電気・電子工学、情報工学（ＩＴ）など複数の学問領域にまたがった技術と知識がこれまで以上に必要になると考えられます。

東海地区の産業界と密接なつながりを持つ大同工大では、このような社会の要請に応えるため、2006年４月、ロボティクス学科を開設しました。「ロボティクス」とは「ロボット工学」のことで、東海地区では初のロボット専門の学科です。

Q：どんな能力が身につくの?

A：創造性豊かな技術者を育成するため、「複数の学問領域にまたがる対象を１つのシステムとしてまとめ上げることができる能力」を養成します。

Q：どんな授業が行われるの?

■ロボティクス入門

ロボットを構成するために必要な技術を紹介します。その後、ロボット組立て用ブロック（レゴ）を用いてロボットの機構と制御の基礎を体験し、また２足歩行ミニチュアロボットセットを用いてロボットの運動の初歩を学びます。

■ロボット創造実習

レゴの組立てブロックを用いてロボットを製作し、プログラムで動作させます。ロボットの製作過程でセンサ、モータ、移動機構およびパソコンの基礎知識と応用力を養います。最後にロボット競技会を開催し、独創性を競います。

■機械設計学

ロボットを構成する機械部品には摺動・回転・固定（締結）など様々な用途があります。これらの構造・機能・使途を概説し、使用時に受ける引張り・圧縮・曲げ・ねじりなどの状況を学んだ上で、設計する際の強度計算の手順と方法を学びます。

■メカトロニクス工学

マイクロコンピュータの構成を理解し、コンピュータと機械を結ぶインタフェースの基礎を学びます。入出力インタフェースを通してコンピュータが機械をコントロールする仕組みを学び、計測・制御の基礎を学習します。

■ヒューマンインタフェース工学

ロボットと人間との関わりについて学習します。代表的な知覚認知の現象を通して、人間が感じたり判断したりするとは何かを学び、ロボットにどう応用していくかについて考察していきます。

■ロボットプログラミング

直流モータの速度制御・位置制御プログラミング課題、移動ロボットの軌道生成・駆動プログラミング課題、各種センサの信号処理プログラミング課題、画像処理やデータ解析課題、ロボットアームの運動と制御のシミュレーション課題、シーケンスプログラム課題、ロボットアームのティーチング課題などを通して、プログラミング手法を学びます。

■ロボット運動制御

アクチュエータによる操作力とロボットのスピードの変化の関係や、ロボットハンド先端で外部環境に作用する力との関係を学びます。次にロボットを移動させる位置制御方法と、力制御方法を学びます。

■ロボットビジョン

ロボットに人間以上の仕事をさせるには、人間の目のようなビジョン（視覚）を持たせる必要があります。カメラからの画像入力、さまざまな画像処理、そして画像認識など、ビジョン・データ処理に必要なハードウェア、ソウトウェアを解説します。

■ロボット創造ＣＡＤ演習

３次元ＣＡＤを用いて各自のアイデアでロボットを創造し、必要な動作をさせるためのメカニズムを考え、センサ・アクチュエータ・歯車などの既製部品を選択し、細部にわたって設計します。

■人工知能

ニューラルネットワーク、ファジィ推論、遺伝アルゴリズム、強化学習など、情報処理分野で活発に研究されている人工知能技術をロボットに応用し知能化する方法について解説します。

Q：どんな先生がいるの？　何をやっているの？

A：浅井先生　認識　「ロボットは人間になれるのか」
　大嶋先生　ロボット　「触覚機能を持った筋肉の開発」
　尾形先生　制御　「いかにして最適に動かすか」
　西堀先生　ロボット　「誰もやってないことを、やる」

●踊る！ロボット・バトル 踊る！ロボット・バトル

第１部【予選・デモンストレーション】

決勝トーナメントに出場できる16機を決めるため、制限時間内（１分30秒）で各ロボットが決め技等を披露。
中には「祝・ロボティクス学科新設」の旗を振るロボットも登場し、会場を沸かせるシーンも。もちろん、そのロボットは予選を通過しました。

第２部【本戦・トーナメント】

「大逆転あり」「小よく大を制す戦いあり」とドラマティックなバトル展開に会場は大興奮。

結果は、本学ロボット研究同好会の青木くん（MM06）が見事３位に！そして優勝は親子で参加したマルファミリーでした。

本学ロボットは、大技こそ無いが相手の攻撃を必死に踏ん張って耐え、コツコツとパンチを繰り返すバトルスタイル。これはまさに本学学生の「まっすぐ、まじめなコツコツ精神」が乗り移ったロボットです。今回のバトルではロボットが壊れても、最後まで戦うシーンにドラマを感じました。

新設された「ロボティクス学科」にはどんなドラマが待っているのでしょうか。

●ロボティクス学科　新設を祝うロボット

４月15日（土）、ゴビーホールで２足歩行ロボット競技会！「ロボット・バトル in 大同工業大学」が観客およそ200人の見守る中、盛大に開催されました。

参加チームは第９回ＲＯＢＯ-ＯＮＥチャンピオンの光子力研九所やＲＯＢＯ-ＯＮＥ界の神とも呼ばれている吉村さん、そしてもちろん、本学ロボット研究同好会の総勢20チーム。

Q：どんな進路が待っているの?

A：ロボット・メカトロニクス産業、省力自動化装置産業、医療・福祉機器産業、自動車関連産業、電気・電子機器産業、計測・制御装置産業、ソフトウェア産業、ベンチャー企業、官公庁、各種公団・公社、教員および大学院

2005.4.1「個人情報保護法」の施行に伴う対応について

大同工業大学同窓会は、会員相互の和親の向上をはかり、大同工業大学の発展に寄与することを目的として活動しております。この目的を遂行するために必要な同窓生の個人情報をお預かりしております。本会は個人情報の適切な利用と保護の徹底をはかり、会員の信頼を得るために、個人情報に関する法律等を遵守します。また会員の個人情報は大学と共同利用しています。何卒ご理解ご協力をお願い申し上げます。

個人情報の取り扱いについて詳しくは、ホームページ上に掲載されています大同工業大学同窓会個人情報保護ポリシーをご覧ください

OFFICE INFORMATION

◆ホームページ委員会◆

2003年12月に同窓会ホームページの構成を変更してから３年が過ぎました。このときに考えたのは、有志の方々が気軽にホームページの構築に参加でき、これがコンテンツの充実や同窓生間の交流の活性化を促し、ひいては本学の認知度やイメージの向上に役立つようにしたい、ということでした。また、本学や支部の拠点から遠距離の地域に在住される同窓生の皆さんにとって、同窓会活動に直接参加できる有力な手段でもありますので、これが実現できるよい方法はないものか、と常々考えてきました。近年、ブログというホームページ構築ソフトが大変流行してきました。ブログを試行したところ、問題解決のめどが立つように考えられました。今後、皆さんのご指導ご協力を仰ぎながらブログへの移行や連携による、新たな参加型ホームページの実現に取り組みたいと考えています。

◆『アンケート』のお願いと『会員だより』原稿募集◆

同窓会では，会員皆様のご意見等を伺い，今後の同窓会活動に反映させていきたいと考えております。つきましては，同封のはがきに記載されてますアンケート項目にご回答戴きますようご協力とお願い申し上げます。

また，次号の会報発刊をもって第50号となります。この記念号としてのひとつに，会員皆様のご意見，近況等を『会員だより』としての掲載を予定しており，ここに原稿を募集致します。多数のおたよりをお待ちいたします。なお，掲載時おきまして匿名希望の場合は，その旨はがきに記載戴きますようお願いいたします。なお，お寄せ戴きました原稿について会報掲載時には粗品としてゴビーグッズをお送り致します。

★同窓会事務局フリーダイヤル★

ご要望、情報等にご利用ください

ゴビーのお兄さん

0120-531023

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

同窓会員の皆様方におかれまして如何お過ごしでしょうか。

同窓会報も次号をもって第50号を迎え、その記念号の発行を考えております。

つきましては、同窓会報へのご意見・ご要望等を掲載したいと思いますので、同窓会員の皆様方、多数の寄稿をお願い申し上げます。

発行　大同工業大学同窓会
名古屋市南区滝春10－3
直通電話・FAX〈052〉612-8550
滝春校舎代表電話〈052〉612-6111
責任者　会長　宮本一男
印刷　名港印刷株式会社